



NPO 法人流山市国際交流協会
NAGAREYAMA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

NIFANEWS

発行: NPO 法人 流山市国際交流協会
〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F
国際理解サポートセンター内
☎: 04-7128-6007 (月・水・金)
Email: nifa-support@bz04.plala.or.jp
<http://nifa-home.sakura.ne.jp/>



昨年 4 月に制定された「流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例」が、具体的に動き始めています。外国出身者との共生を進める事業もその一つ。NIFA は、異文化交流と言葉の分野で事業を委託されました。



遠いけれど近い国

～ ナイジェリア料理教室 1 月 13 日 南流山センター ～



久しぶりに料理教室を開きました。2019 年 11 月のオランダ料理教室以来です。今回はナイジェリアの料理。講師はアイリーン・アブ (Irene Abu) さん、来日して 3 年、市内の小学校で英語の先生をしています。

この日の献立は、ジョロフライス、オクラスープ、コールスロー。ジョロフライスは、炒めた玉ネギ、ニンニクにトマト缶を加えて煮詰め、唐辛子、タイム、カレー粉、スープ、トマトペースト、ベイリーフを加えてさらに煮詰めます。そこに炊いたロングライスを入れて炒め、塩やレッドペッパーで味を調えます。最後にグリーンピースを入れれば出来上がり。素揚げのフライドチキンを添えていただきます。オクラスープはオクラ、玉ネギ、サバ (鯖) を一緒にしたスープ。赤唐辛子や塩、チリペッパーを加えて、好みの味にします。

粘りの少ないロングライスは、炒めるととてもおいしく、見た目はトマト色でオムライスのご飯のようです。普段の私たちの食事とあまり変わらない味わい、名付けるならユニバーサルテイスト (Universal Taste) です。一方で、オクラスープは初めて。私たちが普段手に入る材料でも、この組み合わせで全く新しい味わいになります。オクラのしゃきしゃき感とねばねば、サバの味が、唐辛子やチリペッパーで一つにまとめられた、さっぱりしたスープです。ナイジェリアの人のユニークなアイデアに感心しました。これら 2 品は、ナイジェリアのごく普通の昼食だそうです。ライスを主食にするのも、私たちと近い感じを抱きます。

試食の後は、アイリーンさんがナイジェリアを紹介してくれました。おいしそうな食べ物、結婚式に一族でごちそうを作り、祝いの宴を催す写真など。また、帽子や、スカートのように腰の周りを巻く布など、民族衣装をまとった姿を披露してくれました。濃いブルーやグリーン系と茶、からし色系の縦じまがとてもシックで、和服にでもできそうな柄、風合いです。

極め付きはダンス。レゲエに似た緩やかな調子のメロディと、さほど激しくないビートに乗り、みんなで踊ります。振り付けは自由なようですが、盆踊りのように決まった動きが繰り返され、覚えるのは難しくありません。笑い、歓声に包まれます。

外国出身の方、小学生から大人まで約 20 名の方が参加、「どこにある国？」が「ここにある国」になりました。





にほんご いしそつう
「やさしい日本語」でだれもが意思疎通がしやすいコミュニティを
 たようせい そんちよう しゃかい すいしん む じぎょう しょうがいがくしゅう
 ～ 多様性を尊重する社会の推進に向けた事業 (12月3日 生涯学習センター) ～



普段、多くの日本人は「やさしい日本語」を意識して話したり書いたりしていません。少なくとも日本人同士では。今や日本に暮らす外国出身者は、300 万人を超えました。(注1) これらの人は日本語で日本人と話したいと努力しています。「日本語は難しい」とよく言われます。でも工夫することで「やさしい日本語」になり、お互いがよりわかり合えることにつながります。

「やさしい日本語」講座は、外国出身者にもわかるような日本語の話し方や書き方を学び、日本語で互いの理解を深めようとする取り組みです。この日は、崔英善(チェ・ヨンソン)氏に講師をお願いしました。崔講師は、藤沢市の「人権男女共同平和国際課」に勤務の傍ら、国士舘大学で教鞭をとられています。外国出身者を交えた 32 名の参加者は、5 グループに分かれ、彼らと親しくなるような問いかけをしたり、地震が発生した時の注意を外国出身者に伝えるロールプレイを行ったりしながら、講座は進みました。



日本語を難しいと感じるのは、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットなど表記方法が多いこと、曖昧な表現や言い回しのために、言っていることが理解できない、直接表現される言い回しの裏にある隠れた意味が理解できない、などが挙げられます。なので、「やさしい日本語は、その難しさを取り除くことが大切。はっきりと、最後まで、短く言う(書く)[ハサミ式]、分けて、整理して、大胆に言う(書く)[ワセダ式]、複合動詞(打ち消す、申し出る等)は使わない、受動態、敬語は避ける、否定形ははっきりと、など実例を交えながら学びました。

2017 年 2 月にも同じ趣旨の講座を開催しました。2022 年 3 月には「やさしい日本語」の啓発ポスターを市内公共施設に掲示したこともあり(注2)、機運は徐々に高まっています。今回の講座を機に、あちこちで「易しい日本語」への取り組みが行われ、「優しい日本語」で誰もが暮らしやすい流山になるよう、NIFA も手伝います。

(注1) 2022 年末の在留外国人数は 307 万人(法務省出入国在留管理庁の統計による)。

(注2) ポスター制作は、NIFA が委託されました。



理事会開催案内

日時：2024 年4月 13 日(土)
 午前 10 時 00 分から
 場所：市民活動推進センター
 大会議室
 議案：第 13 回通常総会開催
 及び付議事項決定の件

第 13 回通常総会開催案内

日時：2024 年 4 月 27 日(土) 午前 10 時 00 分から
 場所：生涯学習センター C401
 議案：2023 年度事業報告、決算報告の件
 2024 年度事業計画、予算決定の件
 その他

※開催通知は、4 月 16 日過ぎに正会員の方に郵送します。

※議案の詳細は、開催通知と一緒に送る議案書を参照してください。





NIFAの人 なかの あきら 中野 明さん

外国語支援事業部・日本語講師

Q. NIFAに入会されたのはいつ、どんな動機ですか？

A. 2022年の終わりに入会しました。私は当時、NIFAの韓国語講座を受講しており、講師の金淑花先生と、私が日本語講師の資格を持っていることや、「やさしい日本語」の話をする中で、外国語支援事業部へ入会できないか、事業部長でもある金先生にお願いしました。

Q. 韓国語を受講された理由は？

A. 韓国語の文法や文型を知っていた方が教えやすいと考えたからです。その前に中国語検定も受けました。外国語を学ぶ時に感じる悩みや問題点、勉強法などを知って、日本語指導に役立てたいと考えたものです。

Q. 日本語講師と「やさしい日本語」との関係は？

A. 数年前に420時間の講座を受講し、資格を得ました。この講座の中に「やさしい日本語」の授業もあります。そして金先生から触発され、改めて「やさしい日本語」を深めようと思うようになりました。支援事業部では、いくつかの外国語の分担がありますが、その一つに「やさしい日本語」が加わり、私が担当しています。

Q. 「やさしい日本語」とはどんなものですか？

A. 文章だけではなく、会話も「やさしい日本語」にして、情報が正しく伝わり、正しく理解してもらう言葉です。目だけではなく、口頭でもです。対象はまず外国の人ですが、大変広いものです。各行政機関等からも「やさしい日本語」の指針が出されていますが、「あいまいことば」「二重否定」「動詞の名詞化」などは使わないこととされています。「食べられないことはない」と言った表現は、母語に二重否定の文法を持たない方には理解できません。日本語の難しさも感じながら勉強している毎日です。

NIFAのホームページで外国語支援事業部の各言語を見ていただくと、「流山市に住む外国人のための生活ルールとマナー」という解説ページがあります。この中の「やさしいにほんご」版を担当しました。

Q. そもそも「やさしい日本語」は、どの程度の日本語を理解している人が対象ですか？

A. 日本語能力試験のN4レベルを基準にしています。日本語学習者が多く使っているテキスト「みんなの日本語」

シリーズを終えた、小学3年生程度が目安です。なので、日本の文化的背景を持つ言葉、社会的な言葉、男言葉、女言葉などは使うことができません。先輩や上司に使う敬語は伝わりません。日本人には失礼な言い方でも、伝わる方が大切です。「お越しください」は「来てください」でいいのです。上から目線を感じる必要はありません。また「やさしい日本語」には「やさしい文体」も含まれます。格式張ったり、硬い言葉の文体は使わず、構造も単純にします。

Q. 今後日本は人口が減り、もっと外国の人に来てもらって一緒に生活するとなると、誰でも理解できる日本語は必要になりますね？

A. 私は、昨年より介護の資格を取得し、介護職に就いています。この仕事では人材不足が大きな問題となっていて、2025年でも230万人必要な介護職が22万人不足し、2040年には280万人必要のところ69万人不足すると言われています。この改善のために国は、2019年に特定技能実習制度を導入し、日本で介護の仕事に就いてもらう外国人の要件を少し緩和しました。私は今、実際に介護の現場を経験しながら、「介護のためのやさしい日本語」を教えたいと準備をしているところです。

Q. 「やさしい日本語」の浸透度を見て感じることは？

A. 外国の人が多く住んでいる自治体の中には、取り組みが進んでいるところがあります。その様子を見学したり、紹介してもらうことは参考になると思います。

Q. 何か趣味をお持ちですか？

A. バイクでのツーリングです。仲間と日帰り伊豆や房総、会津に出かけました。往復で500kmから600kmは走ります。日本語や外国語の勉強も楽しいです。

Q. NIFAに入ってお感じになることは？

A. 皆さん熱心に活動され、刺激を受けることも多く、よい組織だと感じます。

◆ お忙しい中貴重なお話をありがとうございました。

細くていいので長く続けていただくよう希望します。

(聞き手 西山勝 1月25日)





ながれやま みりょくはっけん
流山の魅力発見

がいこくしゅっしんかい いん うつ
～外国出身会員に映るもの～

外国出身の会員の皆さんに、街の風物の魅力などを語ってもらいます。

ふるさと おも お 故郷を思い起こさせてくれるコーヒーショップ

ナジュラ アル ワハビさん イエメン出身 日本語講座事業部

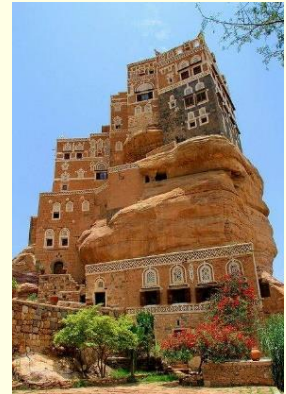


ナジュラさん

アラビア半島南端の国 イエメン

最初に私の国、イエメンを紹介しましょう。イエメンは中東、アラビア半島の南端に位置します。北はサウジアラビア、西に紅海、南にアラビア海、そして北東はオマーンと国境を接しています。イエメンには、山、砂漠、アラビア海沿いの海岸線など、さまざまな景観があります。

※右の写真「Dar Al Hajar」(ダール・アル・ハジャール)は「石の家」または「岩の宮殿」の意味。首都サヌアから約 15 キロメートルのワディ・ダールにある旧王宮です。



Dar Al Hajar

伝統と新しさが共存する流山

次に、私が住む流山について話したいと思います。流山市が住みやすい理由はいくつもあります。流山市は閑静な街でありながら東京などにも近く、交通の便がとても良いです。そして、伝統的な古い建物と、近代的な新しい建物が共存する魅力的な街でもあります。また、この街には、豊かな文化を見せてくれるイベントや祭りがあります。つまり、流山市は便利で文化的にも豊かであり、それでいて静かに暮らせる、故郷と呼ぶのに最適な場所です。

「山猫屋珈琲店」の店先



「山猫屋珈琲店」

私のお気に入りの場所の一つに、南流山の「山猫屋珈琲店」があります。店の人は大変親切で、ここに来ると、特別な気持ちになれます。ここには世界中のいろいろなコーヒー豆がそろっていて、このコーヒーの香りをかぐと、イエメンのモーニングコーヒーを思い出します——その香りのおかげで居心地が良く、くつろげます。

「珈琲屋OB 流山店」

毎週水曜日には、日本語教室の前に「珈琲屋 OB 流山店」に寄ります。この店は、森の中の小屋のような店の造りがすてきです。ここはコーヒーを飲むだけの場所ではなく、毎週の私のルーティンの一つとなっています。この店の店員さんもういつも親切で、森の小屋のような雰囲気も手伝って、一日を前向きにスタートさせてくれます。

これらはただコーヒーを飲むだけの場所ではありません。どちらの店も思い出をよみがえらせ、私の国とのつながりを感じさせてくれる場所です。「山猫屋珈琲店」と「珈琲屋 OB 流山店」は、特別な温かさと昔のよき思い出で、私の日常をよりよいものにしてくれます。

(日本語訳: 湯浅 志保さん ナジュラさんの担当講師)



「珈琲屋OB 流山店」の店内



Two coffee shops that remind me home

Ms. Al Wahabi Najla, Yemen

At first let me introduce you to my country, Yemen.

Yemen is located in the Middle East, on the southern tip of the Arabian Peninsula. It is bordered by Saudi Arabia to the north, the Red Sea to the west, the Arabian Sea to the south, and Oman to the northeast. Yemen has a diverse landscape, including mountains, deserts, and a coastline along the Arabian Sea.

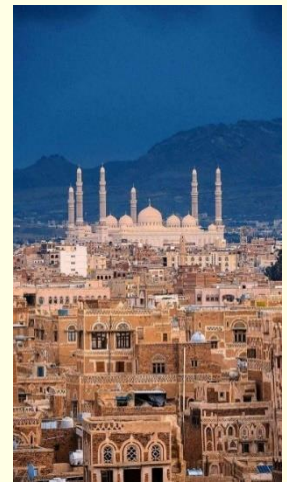
Second, I want to talk about the place I live in, Nagareyama.

Nagareyama is a good place to live for several reasons. The city offers a peaceful atmosphere however, it's also well-connected to Tokyo and other areas, making transportation easy. The mix of modern and traditional architecture adds a unique charm, and the city hosts events and festivals that showcase its rich culture. Overall, Nagareyama combines peaceful living, convenience, and cultural richness, making it an excellent place to call home.

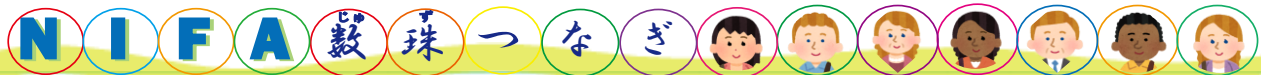
One of my favorite places is 'Yamanekoya coffee roastery' in Minami-nagareyama. The people who run it are super friendly, and the place has this special feeling. They have lots of different kinds of coffee beans from all over the world. When I smell the coffee, it reminds me of mornings coffee in Yemen – it feels cozy and familiar.

I visit the coffee house 'OB Nagareyama Shop' every Wednesday before my Japanese lesson. The shop is cool, with wooden decorations that make it seem like a cabin in the woods. It's not just a place for coffee; it's become a special part of my weekly routine. The people who work there are always nice, and being in that wooden houselike atmosphere makes my day start on a positive note.

These places mean more to me than just spots to grab coffee. They bring back memories and make me feel connected to my home country. 'Yamaneke' and 'Coffee House OB Nagareyama' make my everyday life better with their special warmth and the good feelings of the past.



首都サナアの街並み
しゅと まちな



渋谷ロセール(しばやロセール)さん
にほんごこうざじぎょうぶ
日本語講座事業部

- ◇出身: フィリピン
- ◇滞在年数: 20年
- ◇趣味: 料理、ダンス、アクセサリー作り、エクササイズ



私は家族や友人のために料理を作るのが大好きです。料理教室で料理を習い、主人と子供のためによくデザートを作っています。私の日本語はまだ不十分なので、NIFA で勉強しています。とても楽しいので、もっと勉強を頑張ります。

寺田 薫(てらだかおる)さん
がいこくご
外国語講座事業部

- ◇出身: 千葉県館山市
- ◇動物に例えると: たぬきです。理由は顔が丸いからです。



趣味は刺しゅうと韓国ドラマを見ることです。冬ソナからずっと韓流ファンですが、外国に行くにはやはり英語が必要不可欠ということで、楽しみながら学んでいます。

井上洋子(いのうえようこ)さん
ぶんか
文化講座事業部 日本語講座事業部

- ◇出身: 茨城県
- ◇趣味: 大人ピアノ、テニス、旅行、カフェ探訪



ワールドハーモニーにはデイドリームを歌いたくて入りました。コーラスは初めてでしたが、先生方のご指導が素晴らしく、皆様と歌うのも楽しく、練習が楽しみです。

日本語講座事業部にも在籍し、大人と小学生の日本語の学習のお手伝いをしています。外国人の皆様との学習は楽しいです。

日本語を学びたい人に間口を広げています

NIFAは、創立間もない頃から、中央公民館で成人向けに日本語講座を毎週開いています。小中学校でも、児童・生徒に直面で日本語指導をしています(委託事業)。また近年は、さまざまな希望に応じ、日程、場所、支援の形なども柔軟に対応しています。

先生と生徒の皆さんの熱い思いを支援 ～流山北高校での日本語授業の支援～

昨年の10月から県立流山北高校で、日本語授業の支援を始めました。同校は県内でも数少ない「地域連携アクティブスクール」に指定されています。この制度の下、生徒の皆さんには、火曜日の6時限に、国語、数学、英語のいずれかを選び、もう一度復習するという授業があります。外国出身の生徒の皆さんは、この時間は別室で日本語の授業に参加します。授業は担当の先生の進行に合わせて、NIFAの日本語講師が皆さんを見て回りながら、一人ずつ指導します。

この日は1年生4人が参加。「冬休みはどのように過ごしましたか」「今年の目標は何ですか」の問いに、各自答えを順番に発表。みんな日本語を使って会話をします。次に助詞の使い方の練習。プリントの問題文の()に助詞を埋めていき、順に答えを発表します。最後は漢字の練習。書き方、書き順よりも、その漢字が使われている文例を理解することが大変そう。

いつもは7、8人が参加する授業。NIFAの講師は、日本語版のALTといったところです。短い時間では、講師が個別の質問に応じたり、理解に即して教える方法が効果的だと感じます。

生徒の皆さんは、これからいやなく、卒業後の進路を考えなくてはなりません。皆さんを後押しする担当の和田哲也先生の熱意あふれる授業と、物静かながら皆さんが将来に思いをはせる姿に触発され、講師も希望がかなうよう、惜しみない支援を注ぎます。

江戸川の土手からは
冷たい強風が校舎に
当たり、轟音が鳴り響いて
いましたが、教室の中は
暖かでした。(1月16日)



初めて一堂に集まり、日本の正月を体験

ここには日本の正月がありました。茶道、書道、福笑い、折り紙のプログラムで、受講生の皆さんと一緒に、昔からある文化、遊びを楽しもうというものです。講師の皆さんも茶の湯、筆やすずりなどを用意し、部屋を飾ります。

茶道は、お点前の手順を紹介。皆さんには自分でたてた抹茶を飲んでもらいました。「苦い」という感想は共通、でも味わってもらいました。書道にも皆さん興味を持たれたようです。それぞれお好みの字に挑戦、講師に跳ねや留めなど教えてもらいながら、かなりの腕前に書き上げました。



～日本語講座事業部江戸川台教室～

別のテーブルには、鶴、チューリップ、箱、手裏剣などの折り紙を展示。「折り紙」は、今や「Origami」として世界に広がる文化です。皆さんにはかぶとを折ってもらいました。

福笑いは抱腹絶倒です。飛び入りでウオンさん(香港)、中橋さんのカラオケ、アディティさん(インド)のダンスもありました。

この日は、江戸川台教室の受講生11名と講師合わせて20名の皆さんが参加。みんな福笑いのお多福のように、目尻は下がり、頬の膨らんだひとときでした。(1月21日 生涯学習センターにて)

4年ぶりに飲食ができる「お楽しみ会」でにぎわいが戻る ～12月13日 日本語講座事業部～

日本語講座中央公民館教室の年末は、「お楽しみ会」でめくくりです。この日はお菓子を持ち寄り、集まりました。

もちろん4月から日本語を学んできた成果を発表する機会でもあります。今回は、学習者が自由に選んだテーマで自己紹介を行いました。好きだった遊び(子供の時の)、好きなこと(趣味)、食べ物、場所、映画・スポーツ・音楽、休日の過ごし方、忘れられない言葉、飼っていたペット、初めて歌った日本語の歌、その他のテーマを前もって提示しました。皆さんしっかり準備をし、堂々と、またユーモアを交え、身振り手振りも

いっぱい、中には少しはにかみがちにと、さまざまですが、スピーチの懸命さに引き込まれ、お互いを知るよい機会にもなります。

飲食を伴う歓談は4年ぶり。いつもに比べ食べやすいものを中心で。テーブルに並んだお菓子、飲み物が歓談の輪を広げます。フィリピンのバナナ春巻きやカラフルなわらび餅風のお菓子、イエメンのクッキー、ベトナムのお菓子、ラトビアのオート麦のクッキーなど、丹精込めて作ってくれた自国のお菓子をみんなで楽しみます。

会は、谷田さんのハーモニカ演奏、「さくらのワルツ」で幕開け、歓談の時には飛び入りで高橋ミラグロスさん(フィリピン出身)のクリスマスソング独唱もあり、大変にぎやかに、楽しいものでした。

毎週ここに集まる皆さんも、普段は互いに言葉を交わす時間も無く、年に1度の「お楽しみ会」が貴重な交流の場です。クリスマスプレゼントと温かな空気がお土産になりました。(リポーター:鈴木史明さん、湯浅志保さん)



文化講座事業部のクリスマス

◎ 絵本の読み聞かせとスノードーム作りでクリスマスを楽しむ
～ 12月10日 キッズ英語クリスマスレッスン ～

クリスマスより少し早めの日曜日、英語のレッスンを楽しみにしているキッズが生涯学習センター(エルズ)に集まりました。

総勢14人といつもより大勢の参加、でも、とても静かに英語の読み聞かせから始まりました。この日の絵本のタイトルは、「The Very Hungry Caterpillar's Christmas Tree」(「はらぺこあおむし」シリーズ)と「Fa La La Leslie Patricelli」(レスリー・パトリチェリ作の「ファララ」)。「Fa La La」は、もみの木を買いに行ったり、プレゼントを作ったり、サンタさんに会いに行ったり、クリスマスソングを歌ったりしながらクリスマスの準備を楽しむ一冊です。いつものように平恵理子講師が美しい発音で読み聞かせ、時々英語で質問、子供たちも英語で答えます。

次のプログラムはスノードーム作り。透明なガラス容器に水や、白やキラキラ光る紙片を入れ、その容器を動かしたり、揺ると、中の紙片が雪のように舞い、とてもきれいなクリスマスの飾りになります。子供たちは2つのグループに分かれ、容器の中に飾るツリーや人形をふたに固定する作業をいろいろ工夫しながら進めます。工作の途中でも平講師は、英語で適宜説明したり、子供たちとやりとりします。予定の時間にはみんな一通り完成、容器に水を入れ、きれいな飾りができました。今日のレッスンのクリスマスプレゼントになりました。

◎ ペアダンスで華やかになったクリスマスパーティ
～ 12月20日 ワールドダンスラテンコース GLP アルファリンク8 ALCO テラスにて ～

私たち、パーティの
主役になる!!



外国語講座拝見

◎ 講師の小気味よい英語とユーモアで、笑いの絶えない講座 ～「英会話初級ラムB」～

年明けすぐの講座は新年版。「正月はどう過ごした？」の問いに答えることからです。元日の能登地方の大地震、羽田の航空機事故、箱根駅伝など、皆さん見聞きしたり感じたことを話します。

次はディスカッション。「お気に入りの正月の習慣は?」「やめたい正月の習慣は?」「最後に初売りに行ったのはいつ?」「子供の頃から新年はどう変わった?」のテーマを順に取り上げます。(テーマは英語で板書)「スープはいいけれど餅はきらい」(講師)、「年賀状はやめたい」「今は子供の頃の正月遊びをしなくなった」などの発言をきっかけに、次々に会話が広がります。

最後は、講師が選んだ興味深いテーマの記事を順番に音読。(コピーは直前に配布)。今回は「早起き型の人、ネアンデルタール人の遺伝子を受け継いでいる」という記事。「みんなは早起き型(early bird)?それとも夜型(night owl)?」で大盛り上がり。



リチャード・ラム先生(前列中央)を囲んで

リチャード・ラム(Mr. Richard Lam)講師はナチュラルスピード、でも短文の多用なので理解は難しくありません。その分、受講生の会話が多くなります。皆さんも伝えようと懸命に話します。ラム講師の穏やかな表情と溢れるユーモアに笑いが絶えません。ラム講師には2013年1月からお願いしており、長年続いている人気講座の一つです。この講座の前に同じ初級のA講座があります。(1月5日)

NIFA が語る異文化と国際交流 ～江戸川大学社会学部での特別講座～

学生の皆さんに NIFA を紹介する機会を得ました。約 9 年ぶりです。江戸川大学の社会学部、現代社会学科には環境学ゼミナールがあり、同大学の佐藤秀樹先生が本ゼミナールを担当されています。環境問題は異文化理解や世界の平和等とも関係があることから、今回は NIFA の国際交流の取り組みを紹介する時間をいただきました。また、本講義は、佐藤先生が NIFA の理事を務めていただいているご縁によるものです。

この日は、小宮会長と小谷広報部長が説明役。「NIFA NEWS」「会報」や料理教室(1月13日開催)のチラシなど印刷物を皆さんに配布。NIFA の歴史、組織、各事業部の活動、サポートセンターでの外国出身者向け相談や、小中

学生向けの日本語指導事業などを紹介。また最近のイベントの写真を披露しながら、NIFA をイメージしてもらいました。説明では、最近の多様性を尊重する社会の推進に合わせ、「やさしい日本語」講座や、料理を通じその国の文化を知る講座を開いたり、市内に広がる物流センターでも英会話や、ラテンダンスの講座を開くなど、最近の活動の動きにも触れました。写真では、色々な地域、国からの出身者との交流がとても興味深いことを伝えました。

その後、皆さんから海外に行った時の感想など話してもらいました。それぞれ困ったことよりも得難い、楽しい経験をした方が多かったようです。また今年行ってみたい国や地域について、それぞれに面白い、ユニークな目的を話してくれました。

この講義には 2 年生、19 人が出席。久しぶりに今どきのキャンパスライフの一端を拝見しました。(1月11日)



出産・子育て、就学を翻訳支援 ～外国語支援事業部の 2023 年度の活動～

今年度の外国語支援事業部は、主に妊産婦、赤ちゃん和新就学児童・生徒への支援を中心に活動を進めました。外国出身の方の出産・子育て、教育に不安がないよう願っての支援です。

① 保健センターが行う乳幼児健診時のお知らせ文と問診票の翻訳(委託事業)

流山市の支援策として、乳幼児は、出産後一定期間ごとに健診を受けることができます。NIFA はそのお知らせ文と問診票を英語、中国語、韓国語に翻訳しました。

② 保健センターが担当する「妊娠届出書」「コウノトリプラン」の翻訳(委託事業)

「コウノトリプラン」とは、妊娠期の過ごし方や、出産・産後の子育ての不安、困り事などに保健師、助産師などの専門スタッフがサポートする、流山市の支援計画のこと。NIFA は、「妊娠届出書」と「コウノトリプラン」を英語、中国語、韓国語に翻訳しました。

③ 「流山市保健だより」の翻訳(抜粋)

市の保健センターが年 1 回発行する「保健だより」には、検診、健康診査、健康に関する事業等多くの情報が掲載されています。このダイジェスト版を英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、やさしい日本語の 6 カ国語で制作しまし

た。NIFA のホームページでも見るができます。

④ 小学校・中学校の新入学手続きの翻訳

就学前の児童・生徒のいる家庭に、市から通知される入学手続きを翻訳しました。英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、やさしい日本語の 6 カ国語です。完成版は、市内幼稚園協会、流山市役所学校教育課に報告し、NIFA のホームページに掲載します。

⑤ 私立幼稚園の外国人児童在籍数実態調査、市立小中学校の外国人生徒在籍状況実態調査

市内の私立幼稚園 10 園を対象に、アンケート調査を実施。昨年 6 月時点で 35 名の園児が在籍、親子とも意思疎通に、大きな支障は感じられていないようでした。また学校教育課から得た資料では、今年度は 177 名の小学生、32 名の中学生が在籍しています。地域による偏在も見られます。

編集後記

今年度も、多くの皆様のご愛読、寄稿、登壇にお礼申し上げます。ありがとうございました。

引き続き小谷良美(部長)、西山勝、李明勲、谷口宏美、山田まゆみが担当しました。

